



【第11回】東生田小学校

津久井道沿いの五反田川に面した東生田小学校を訪問し、今年4月に赴任された小林勝弘校長先生にお話を伺いました。東生田小学校は昭和41年4月1日開校。令和元年11月現在607名の児童が在籍しています。11年前に完成した新校舎は左右に分かれ、間の通路の先には小田急電鉄の電車が通過するのを見えます。また、教室の廊下側には壁がなく教室の前はオープンスペースになっています。

東生田小学校は学区が広く通学に30分ほどかかる地域も含まれることもあり、多摩区で唯一、開校当初から集団登校をしています。6年生がリーダーとなって低学年の面倒見も良いとのこと。保護者がグループ編成をし、同行することもあります。小林校長先生は毎朝7時45分には正門前に立って子どもたちを迎え、7時50分～8時5分にはほぼ全員が登校。担任教師は教室で子どもたちを迎え、8時25分の「朝の会」から東生田小学校の1日が始まります。小林校長先生は下校時にも、できるだけ正門に立ち、子どもたちを見送られています。このように子どもたちは学校・保護者・地域の方々に守られて明るく素直に育っています。

東生田小学校は昨年まで国語の研究指定校になっていて、日向山で虫探しや植物を見つけたり、「日向山うるわし会」のゲストティーチャーからは色々なことを教えてもらったりしています。その体験を通して自らの考えを深め、表現力をつけて学校教育目標である〈明るい子〉〈伸びる子〉〈たくましい子〉〈やさしい子〉に近づくことを目指しています。(森)

集団登校を仮面ウォーカー イクターがお出迎え



日向山ぼっこ祭り



【第12回】三田小学校

深まりゆく秋の午後、校舎周辺は色づいた銀杏や桜の落葉で敷き詰められ、移りゆく季節を感じながら、2年後に創立50周年を迎える三田小学校を訪問。古賀千穂校長先生にお話を伺いました。

今年度の児童数は637名(5月1日現在)で、学校教育目標として、「豊かな人間性を培い 心身ともにたくましく 実践力のある 三田の子の育成」を掲げ、三田っ子につけたい3つの力として、①進んで人とかがわかる力、②自分で考え、判断する力、③目標をもち最後まで頑張る力を挙げています。

当校は、防災教育の推進校として、防災教育をカリキュラムに盛り込み、過日、関東地区に1台しかないという降雨体験車による学習をしたり、区危機管理担当職員を招いて防災について考える場を設けたりしています。また、情報モラル教育の重点校として、情報の正しい伝え方やスマートフォン等SNS利用上の注意点などを全校で学んでいます。さらに、地域の方々の深い関わり方として、稲の田植えから脱穀まで教えてもらったり、楽しく昔遊びを教してもらったりして、交流を深めています。

学校行事として、「三田リンピック」と称される運動会では、開会式に校庭内にある「築山」と呼ばれている小高い山頂で、赤い衣装を炎と見立て、たいまつをかかげて聖火を表現して大いに盛り上がりました。「三田っ子フェスティバル」では、子どもたちの学習発表の後、PTAやOB会、施設開放団体などが模擬店を出展したりしています。また、「三田っ子ミュージアム」では各学年のアート作品を展示しています。

帰り際、一直線の長い廊下にも暖かな空間教育が見えて心豊かな学校でした。(小澤)



聖火点火(三田リンピック)



昔遊びを通じた地域との交流

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS

2020年 (令和2年)1月

66号

多摩の風景

食の祭典に見え、多摩区で体験できる最高の休日



【写真：加藤】

11月17日(日)に開催された、民家園通り商店会主催「川崎市北部 食の祭典 in 生田緑地」。

今年で4回目を迎えたこのイベント。地元飲食店をはじめ、川崎市内の他の区や他都道府県から合わせて40を超える事業者がお店を構えました。

生田緑地でのイベントといえ、多摩区民祭など多くの人が集まるものもありますが、天候に左右されることもあり、今年が多摩区民祭や2年前の第2回食の祭典も、前日までの雨の影響でぬかるみが多く、非常に苦戦を強いられました。

そんな中、今年も過去最高の天候に恵まれました。中央広場の芝生には、レジャーシートを敷いて食事を楽しむ家族連れが多数見受けられ、食べ比べを楽しむ声が多く聞こえてきました。ステージでは、楽器の演奏や音

楽ライブ、そして食のイベントならではの早食い競争などが行われ、素晴らしい盛り上がりを見せました。

子どもの遊び場、シニアの居場所、多世代が交流するコミュニティの充実を図りたいという区民の声が多い中、駅からは若干の距離はあるものの、人が集まって芝生で悠々とした休日を過ごせ、楽しい気分になることができる。これこそ、多摩区の最も価値ある体験の一つではないか。そう確信させる素晴らしい光景を見ることができたように思います。

今後、向ヶ丘遊園周辺・登戸などは環境が変化し、人の関わり方も変化し始めると思われます。環境が変わっても、広い自然豊かな場所で人が笑い合える。この普遍的な価値を、これからもずっと守ってほしい。など切に願います。(記事：加藤)

昨年12月、小田急電鉄から向ヶ丘遊園跡地を自然体験、商業施設、温浴施設の3エリアに分けて整備するという発表がありました。

現在、登戸駅から区役所へ向かう道路は整備工事中です。JR南武線と小田急電鉄乗入れの登戸駅から生田緑地周辺が活気に満ちた街に生まれ変わることを期待しつつ完成を楽しみにしています。(森)

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570

多摩区役所地域振興課まちづくり推進係

電話 935-3148 FAX 935-3391

メール 71tisin@city.kawasaki.jp

ホームページ http://tamaku-machikyoo.com/



多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っているさまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>

第1回多摩★まち Cafe 「知ってる？子連れで行ける癒しの空間♪」

10月31日(木)、子ども・子育て部会では、子育て支援を行う3団体「おしゃべりサロンあゆみ」「コミュニティハウス MUKU」「中野島ファミリーカフェ(まちプロ中野島)」をお招きして、意見交換を行いました。団体の存在を知らなかった人や、名前は知っていたが具体的な活動を知りたい！と思っていた人、今後の自分の活動のために話を聞きたいという人などさまざまな理由で参加いただき、和やかで有意義な時間を過ごされていました。



「他都市視察研修会」先進モデル事業所を訪問して

今回は、団体支援や交流の場づくり、地域課題解決への取り組みなどを行っている2法人と日本大通り界隈のまちづくりを視察しました。講師の話から見えてくる両社に共通するまちづくりの源泉は、一つは想像するから創造する、どうなるからどうするをデザイン・共感し、ソーシャルキャピタルを活用してつながること、そしてつながりを楽しむ力、幸せを共感する感性が活動の中で培われることが地域課題解決のツボであると、心に響く有意義で余韻の残る視察となりました。



登戸まちなか遊縁地でエコ活動をしました

11月16日(土)、多摩区役所近くの空き地で「登戸まちなか遊縁地」を開催しました。当プロジェクトはエコポイントカード(レジ袋を使わないなどエコな買い物を推進する商店街の取組み)の参加店当てゲームを実施し、好評でした。

このイベントでは毎回ユース食器を使用していますが、今回も使い捨て食器のごみを380個減らすことができました。



第1回多摩★まち大学「地域見守り・支え合い」と「お互いさま」

11月11日(月)、『共育ひろば』主宰の牧岡英夫さんを講師にお招きして、「地域でのつながりの大切さ」についてお話を伺いました。

人は、暮らしの中で、人と人のつながりが広がります。しかし、高齢になったり、病気になったりするとつながりが減少していくことが少なくありません。しかし、自分の住む地域ではお互いのつながりをいっまでも大切にしたいものです。狭い地域だからこそお互い様子が見えて、「お互いさま」の見守り・支え合いができるのです。



令和元年度たまサロンを実施しました

11月30日(土)13時から、区役所で開催しました。前半は、「多摩区を元気にするためには！」をテーマに、様々なまちづくり活動に携わられている高山康司さんを講師に招き、地域活動を行う上で大事なこと、地域での新しい人の迎え入れ方など講演いただきました。また、後半は「高齢者・障害者等が住みやすいまちづくり」等をテーマに、区内の交通・地域の活性化、多世代交流等について意見交換を行いました。



第2回多摩★まち Cafe 「ゲーム体験型防災カフェ」

11月17日(日)、東生田小学校にてゲーム体験型防災 Cafe を開催しました。

避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを体験するカードを使ったゲームで、楽しみつつも真剣に避難所運営について考えるよい機会となりました。

今回の体験を通して、参加された皆さんの危機意識も高まり、防災・減災について考える良い機会にもなりました。



県立向の岡工業高校 相撲部

11月下旬夕方の寒空の下、稽古場を訪問し、清田英彦監督にお話を伺いました。現在、部員は26名で、ウェイトトレーニング、栄養学を取り入れた“身体づくり”に重点を置いて練習しており、今年度は団体戦で関東大会準優勝(3年連続)、インターハイ第3位(2年連続)の成績を取られています。2年生の金子君、吉野君に今後の抱負を伺ったところ、敗れた高校にリベンジすることと目を輝かせていました。

日々稽古に励み、充実した高校生活を過ごしてほしいと思います。



まち協一大イベント「まちカツ！」の開催について

区内の活発な市民活動を知り、参加者同士が交流できる、当協議会の年1回の一大イベント「まちカツ！」(まちづくり活動発表会)を開催します。まちづくりに興味がある方、区内の活動団体を知りたい方や活動されている方もぜひご参加ください。



【日時】2月11日(火・祝)13時～16時
【場所】多摩区役所11階 会議室
【内容】当協議会の活動発報告、ポスターセッション、交流会など
【申込み】不要(参加費無料)

空家について考えましょう！！

9月27日(金)、車座集会が東生田会館で開催され、川崎市長と参加者により「空家の発生抑制と利活用」をテーマに意見交換が行われました。解決に向けてのいくつかの成功事例が紹介されたほか、問題点も出されました。多摩区は川崎市のなかでも空家が多く、さらに増え続けることが予想されています。区民が真剣にこの問題に取り組む必要があります。

1月29日(水)、まち協でもこの問題についてのセミナーを行います。ぜひご参加ください。



「たまプレ」縁日、雨でも元気に開催

子どもたちが「自分のやりたい！」遊びに挑戦できるように、遊び心を刺激する場を開催している「たまプレ」。11月23日(土)に中野島中央公園でたまプレ縁日を予定していましたが、当日はあいにくの雨で会場を中野島多摩川住宅第2集会場に変更。外遊びの催しは出来ませんでしたが、子どもの店、ハンドメイド販売など11店舗が予定通り出店し、集会場は満員電車の様な混雑状態でした。

このイベントの運営は「多摩区でプレーパークをやっちゃおう会」メンバーやボランティアさんに加え、専修大学の2つのサークル、「専修大学生田ボランティアSIV」、「僕らの夏休みプロジェクト専修大学支部」も参加され、大いに盛り上がったイベントになりました。



まちづくり協議会のイベント情報(1月・2月)

多摩★まち大学
「空き家の現状・課題と利活用について」
1/29(水)13:30～@多摩区役所6階601会議室

多摩★まち大学
「地域で子どもを守ろう」
2/20(木)10:00～@多摩区役所11階 会議室

区内のイベント情報(1月・2月)

■第17回ひなた山ぼっこ祭り
1/19(日)10:00～
@ひなた山ぼっこ広場(東生田緑地・ひなた山の森)

■「川国で遊ぼう」2020冬
2/2(日)9:00～@川崎国際生田緑地ゴルフ場

■第65回たまアトリウムコンサート
2/19(水)12:00～@区役所1階アトリウム

※ イベントの日程・内容等変更になる場合がございます。